



## ESG投資の主流化と地域への波及

竹ヶ原 啓介

株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所長

### ESG投資の主流化と気候変動問題

ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字からの造語ですが、「ESG投資」に厳密な定義があるわけではなく、環境や社会などの取り組みを企業の長期的かつ持続的な成長を支える要素として評価し、これを投資の意思決定に取り入れる手法の総称です。2006年に国連が機関投資家に対して提唱した「責任投資原則

(PRI)」の中で用いられたのが最初といわれています。世界持続可能投資連合 (GSIA) によれば、2020年段階のESG投資残高は35兆米ドル、総運用資産に占める割合も36%に達しており、もはや特殊な投資家による特殊な投資活動ではなく、公的年金基金などメインストリームの機関投資家を担い手として、金融市場において大きな役割を果たすようになってきています。日本も例外ではなく、欧米から少し遅れて2015年以降に急速に拡大しています (図1)。

ESG投資は様々なタイプに分類されますが、その本質は長期性にあります。不確実な長期の時間軸で投資先を選び出すには、現在の「稼ぐ力」を示す財務情報に加えて、これを水面下で支える様々な情報 (無形資産などいわゆる非財務情報) にも目を向ける必要があるためです。反対に、こうした視点を持つ投資家に応援してもらいたい企業の立場に立てば、長期にわたる稼ぐ力の持続可能性を説明する必要があります。両者のニーズを満たすのは、将来社会 (顧客) が直面する社会課題を正しく認識し、その解決と自社の成長戦略を同期させるストーリーです。いわば、「当社が儲ければ儲かるほど、この社会課題が解決に向かい、世間にも良い影響がある」というロジックであり、これを価値創造ストーリーと呼びます。現在、ESG投資の世界では、この価値創造ストーリーを巡り、企業と投資家の対話の質を向上させることが大きなテーマになっています。その際、程度の差はあれ、多くの企業にとって成長と同期させるべき課題が「気候変動問題」であることは、想像に難くないでしょう。

### 地域への展開

こうしたESG投資の影響は、日本で大きな役割を担う間接金融 (銀行融資) の世界にも波及しつつあります。前述したように、ESG投資の本質が長期投資にあり、不確実性を伴う中長期を展望して、投資先企業のリスクと機会を見極めるために非財務情報 (ESG) にも注目すると考えれば、この話が地域金融に波及するのは当然です。というのも、伝統的にメインバンクは、取引先企業が将来にわたって事業活動を継

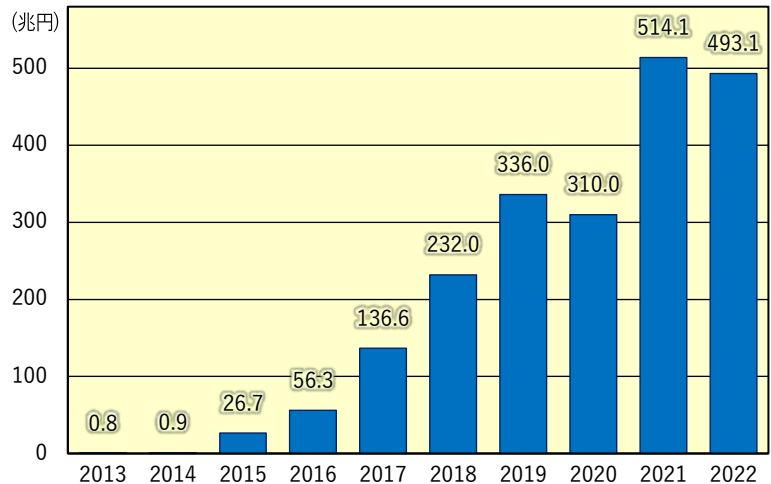


図1 日本のESG投資残高の推移

2014年までは個人投資家向け金融商品残高のみ。2015年より機関投資家による投資残高の開示を開始 [出所] 日本サステナブル投資フォーラム

続いていく前提（継続企業の前提といいます）の下、企業経営に中長期にわたってコミットしてきたからです。加えて、特に中小企業向け融資に顕著ですが、財務諸表の分析に加えて、経営者との深い対話などを通じて事業に係る多様な情報を収集し、総合的に与信判断を下してきました。言い換えれば、中長期的な視点に立ち、非財務情報を含めた与信判断を行ってきたわけで、上で述べたESG投資の発想と極めて親和的なわけです。近時、金融庁から「事業性評価融資」の強化を要請されていることも、この傾向に拍車をかけるといえるでしょう。環境省では、地域金融機関が持つこの機能に着目して「ESG地域金融」というコンセプトの下にサポートも行っています※1。

### 地域脱炭素の実現に向けて

ESG地域金融の拡大は、現在大きなテーマである地域脱炭素の実現を考えるうえでも大きな要素です。現在、政府は地域脱炭素ロードマップの下、2030年までに少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」を選定し、脱炭素ドミノの起点とすべく、取り組んでいます。現在、3期にわたり、全国32道府県83市町村の62提案が採択されています（2023年9月末時点、図2）。

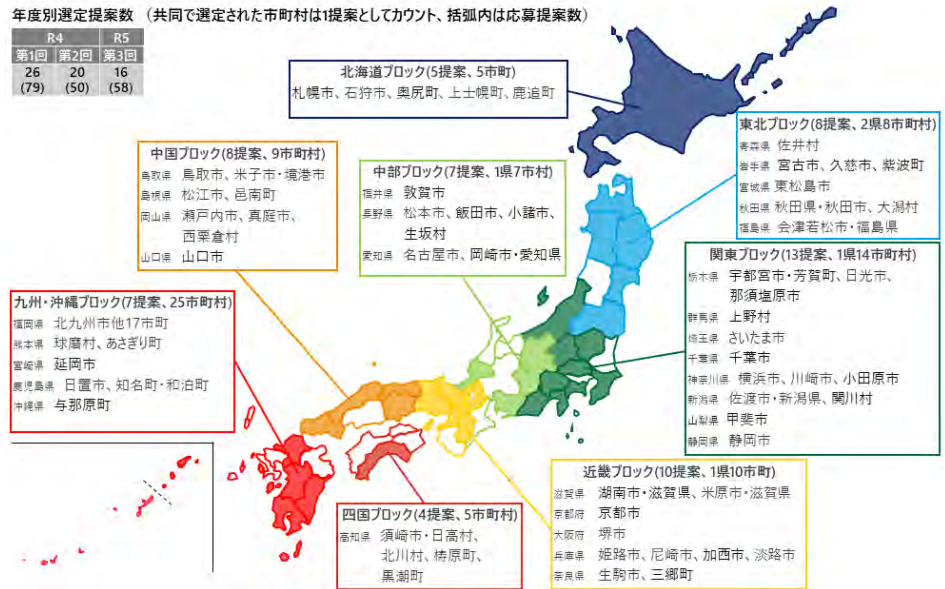


図2 脱炭素先行地域（第1期～3期の62提案） [出所] 環境省

脱炭素先行地域の主役は自治体ですが、民生部門を広くカバーして脱炭素を進めるためには、幅広い主体との連携が欠かせません。このため、第3期から民間事業者等との共同提案が要件に加われました。これを受けて、多くの提案で地域金融機関が共同提案者として名を連ねるようになっていきます。自治体にとって、事業採算性を検討するうえで有益ですし、地域金融機関にとっても、脱炭素というフィールドで地域ESG金融を実践する機会になると期待されます。

今後、この枠組みで地域特性を活かしたモデル性の高い提案が数多く提案されることが期待されます。その際特に重要なのが、脱炭素の取組が地域経済循環にプラスの効果をもたらす（裨益する）という視点です（図3）。この点、「三方良し」の伝統を持ち、滋賀銀行を擁する滋賀県、大津市への注目度は高いと思います。

今後、この枠組みで地域特性を活かしたモデル性の高い提案が数多く提案されることが期待されます。その際特に重要なのが、脱炭素の取組が地域経済循環にプラスの効果をもたらす（裨益する）という視点です（図3）。この点、「三方良し」の伝統を持ち、滋賀銀行を擁する滋賀県、大津市への注目度は高いと思います。

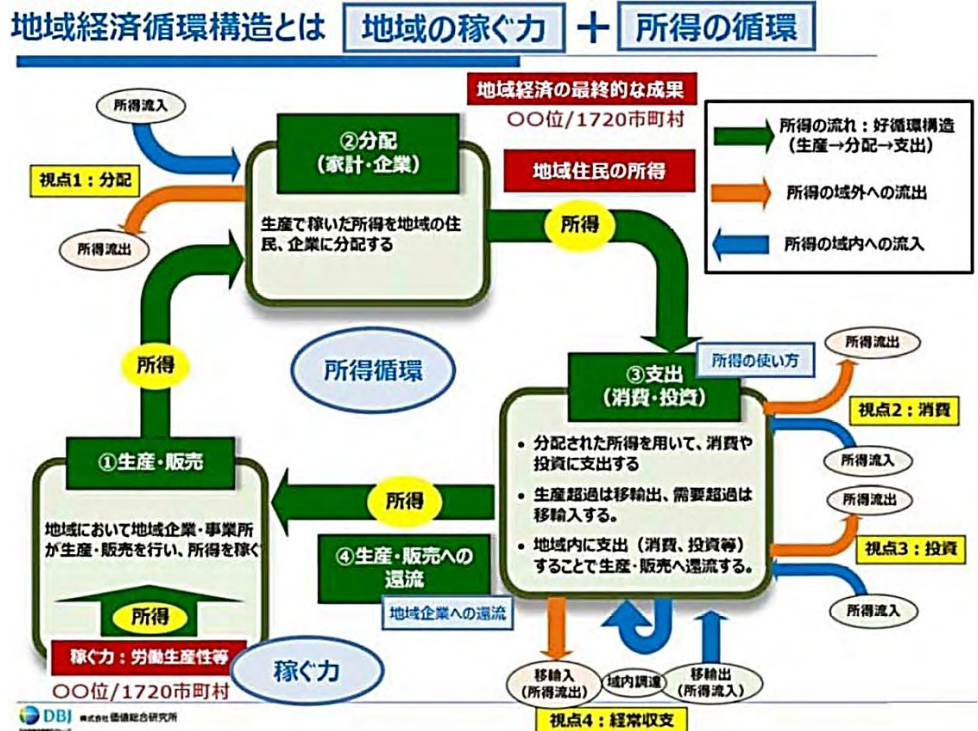


図3 地域経済循環 [出所] (株)価値総合研究所

注 当記事は、2023年9月2日開催の講演会「地球温暖化Now！」の内容を講師により抜粋して解説していただいたものです。

※1 環境省「ESG地域金融促進事業」 [https://greenfinanceportal.env.go.jp/esg/promotion\\_program.html](https://greenfinanceportal.env.go.jp/esg/promotion_program.html)

## □「おおつエコライフチャレンジ」上期実施結果

大津市では「ゼロカーボンシティ」実現に向けての事業の一つとして、手軽にエコライフの取り組み状況をチェックしていただけるウェブ版「おおつエコライフチャレンジ」を開発し、2023年4月から本格運用を開始しました。環境塾等のイベント時や市広報でPRするとともに、市内小学校でも取り組んでいただきました。また、子ども連れ家族を主対象としたイベント「エコフェスタ」で体験ブースを設けて来場者に実際に取り組んでいただきました。

運用開始後9月末までの市民の参加状況は表の通りでした。

2023年度上期の実施効果

	上期実績	うちエコフェスタ時
参加者数	907人	137人
CO <sub>2</sub> 排出削減量	865kg	89kg
節約金額	79,631円	8,774円
種類別節約量		
電気	1,191 kWh	137 kWh
ガス	114.7 m <sup>3</sup>	15.7 m <sup>3</sup>
ガソリン	63 L	0 L
水道	9.3 m <sup>3</sup>	1.4 m <sup>3</sup>

エコフェスタでは子どもたちを主対象として実施したためガソリンの節約量(車関係)は0。



## 英国だより No.9

奥野みどり

<https://www.instagram.com/midori.window.of.opportunity/>

こんにちは。皆様いかがお過ごしでしょうか？

イギリスは暑くなったり、寒くなったりを繰り返しながら季節の変わり目を迎えています。こちらでは嵐や雨風があって季節が変わることが多いのですが、地球温暖化による環境変化のためか今までにない変化を記録することが増えてきました。夏より暑いかな、と思った矢先、急に冷え込みついに暖房が必要な10月に入りました。

そして恒例の雨。いつもはしとしと降るはずの雨が、今年は日本の梅雨のような強い雨が何日も続きました。イギリスは山がないので川の流れも速くなくすぐに水がたまり、洪水になります。そのため、緩衝湿地帯を設けて人家には被害が少ないように工夫されているのですが、今年は下水も追いつかず、道路から冠水することになりました。

幸い私の家は丘の上であり被害はなかったのですが、少し遠出をすると道路が閉鎖されていたり、家から出られない方も続出。雨がやんでも気温が低く、土が乾いてきたらまた雨、という具合。

そんな中、恒例の学校が学期途中にお休みになる「ハーフターム」という休暇が。私はいつも通り仕事でしたが、子供のため数日お休みをとり一緒に過ごすことにしました。

遠くには(洪水や悪天候もあり)行けなかったため、近所を散策することにしました。

実は私の住む地域はトラムという路面電車がいます。そのトラムも洪水のため、止まっていたようですが、動き出した晴れの日には様



大津市とほぼ同人口のノッティングラム市には中心市街部から郊外に延びる総延長 32km のトラムがあり、7～15 分間隔で走っている。写真のトラム線路脇の街灯の中ほどに自転車・乗馬可遊歩道の入口看板が見える。

子を見にいこうということになり、散歩に出かけました。イギリスでは土地のギリギリまで家を建てることなく庭があったりするのですが、さらに家庭菜園用にアロットメントと呼ばれる貸し出し農園(区画は小さいです)があります。それが住宅地のあたりに突然あったりするので、その周りは小道があり、迷路のようになっています。普段自分の家の近所以外は歩き回ることが少ないので、車で10分ほど離れたところからスタート。トラム路線は整備されていますが、一筋違うとまるで別世界！不思議の国アリスのような場所に。残念ながら通りたかった道は水浸しで進むことができず、違う道に。通り抜けた先には別の住宅街がありました。歩くと近道になっていることが多いです。村には見慣れた赤い電話ボックスや郵便ポストがありました。時代の変化からか公衆電話ではなく、本棚(自分のいらぬ本と読みたい本を交換する場所)になっていました。高校生になった息子と散歩しながら、進路や未来の話をして最後にスーパーで夜の食料を買い込み、ゆったりとした時間を過ごしました。

□ 当センター主催一般参加イベントの報告 8月～10月

8月6日 おおつエコフェスタ2023 於：ピアザ淡海 来場者：約1,200人 出展：22団体 ステージ演芸：4団体6演目



体験ブースでの工作やクイズ、ステージ演芸などを通して家族ぐるみで楽しくエコを学ぶ 左写真の一番手前は「エコライフチャレンジ」体験ブース

8月26日 自然家族事業「川の日2」

「大石川探検」於大石スポーツ村 参加10家族30人



川に入って生き物を探し自然保護の大切さを体感

9月2日 講演会「地球温暖化Now!」

「みんなで実現しよう脱炭素社会」  
於ふれあいプラザ・Web併用 参加30人



(株)日本政策投資銀行設備投資研究所長  
竹ヶ原啓介氏による講演(本文参照)

9月9日 おおつ市民環境塾 講座5

「琵琶湖の生物多様性とその保全」  
於ふれあいプラザ 参加15人



滋賀県琵琶湖環境科学センター  
総合解析部門専門研究員 井上栄壮博士による講演

9月30日 自然家族事業「びわ湖の日2」

於オーベルオプテックス 参加25家族69人



カヌー体験とプランクトン観察を通じて  
びわ湖の自然に親しむ

10月14日 おおつ市民環境塾 講座6

エコ料理教室「エコで得て楽しく食べよう」  
於生涯学習センター 参加15人



食に関するエコを実践的に学ぶ

10月21日 自然家族事業「里の日2」

於大將軍2丁目の畑 参加8家族29人



春に植えたサツマイモを収穫し  
スタッフが朝焼いた焼き芋を試食

上記の各実施イベントの詳細は <https://otsu.ondanka.net/> または <https://eco-otsu.net/> をご覧ください。

□ 当センター主催イベント参加者募集 2024年1月～3月

大津市地球温暖化防止活動推進センターでは下記イベントの参加者を募集しています。参加費不要  
参加ご希望の方は「希望講座名」「郵便番号」「住所」「参加者全員の氏名(ふりがな)」「日中に連絡のと  
れる電話番号」「メールアドレス」を書いて、開催の10日前までに下記までお申し込みください。

☎ 077-526-7545

✉ info@otsu.ondanka.net

メールはこちら▶▶▶



1月20日(土) 14:00～16:00 明日都浜大津ふれあいプラザ5F大会議室  
おおつ市民環境塾 講座10 **講演会「食品ロス問題をみんなで考えよう！」**

講師 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課 ほか

食べられるにもかかわらず廃棄される食べ物、食品ロスが大量に発生しています。食品ロスを減らすための行政や事業者等の取り組みを紹介していただき、私たちにできることは何か、一緒に考えましょう。



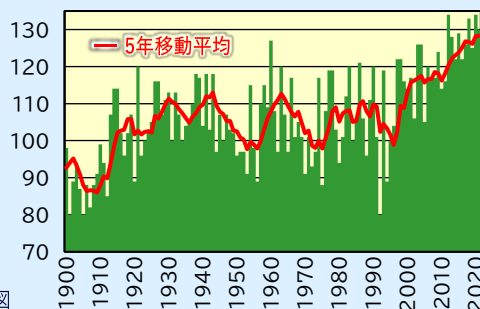
2月11日(日) 14:00～16:00 会場参加の場合；明日都浜大津ふれあいプラザ5F大会議室  
おおつ市民環境塾 講座11 **Web講演会「湖沼の水環境を考える」**

講師 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 山室 真澄 氏

人間の営みを反映してさまざまな問題が起きている湖沼の水環境について、山室教授につくばからオンラインで講演していただきます。講演はご自宅でも視聴することができます。その場合は必ずメールにて応募ください。

データで見る  
温暖化 ⑮

年間夏日日数  
彦根  
1900～2022年



気象庁観測値をもとに作図

発行

大津市地球温暖化防止活動推進センター  
(特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム)  
520-0047大津市浜大津4-1-1明日都浜大津4F  
Tel : 077-526-7545

E-mail : info@otsu.ondanka.net

HP : <https://otsu.ondanka.net/>

編集責任：西山 克己

